

7 月度業務報告

(一社) 中国地域ニュービジネス協議会  
山内

(I) 7 月度 主要イベント

- 7 月 3 日(金)、中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)プレスリリース実施
- 7 月 6 日(月)、経営者セミナー第一講 共催
- 7 月 7 日(火)、起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク構成機関連絡会議開催
- 7 月 8 日(水)、島根支部役員会開催
- 7 月 13 日(月)、山口支部役員会開催
- 7 月 14 日(火)～9 月 8 日(火)、SOERU 募集期間
- 7 月 17 日(金)、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)事務局 WEB 会議参加
- 7 月 29 日(水)、岡山支部役員会開催
- 7 月 29 日(水)、広島支部女性部会催事開催

(II) トピックス

(1) 島根支部役員会開催

島根支部役員 11 名の内 9 名にご出席頂き、支部役員会を開催しました(1 名は WEB 参加)。COVID19 の拡大を受けて、各支部、年度初めの計画通りには活動できていないため、活動計画の見直しを支部ごとに進めております。島根支部がトップバッターとなりました。

石碓支部長は、「島根県経済を若者の力で活性化したい、その起爆剤として創業塾(仮称)を開催し、若手起業家を育てる」という方針を固めておられ、この方針に沿って話し合いを進めました。支部役員会後も、事務局と支部役員の間でやり取りがあり、最終的に今年度は島根県西部地区の負担を考慮し、東部地区での活動となりました。次年度は西部地区となります。

今年度は、創業塾(仮称)活動の前段として、内海中国 NBC 新会長に松江にて 2 月ごろ創業者として講演して頂きます。並行して、島根大学のアントレプレナー教育に島根県から NB 大賞を受賞した創業者に講師を派遣します。今年度は創業塾のコンセプトを固め次年度より本格活動を開始します。

また、積極的な支部活動を行っていくために、支部役員の方々に、役割を担って頂くこととなりました。松江地区(東部)と石見地区(西部)で、催事の推進担当・広報担当を支部役員さんをお願いするなど、支部活動を支えるための布陣を決定いたしました。

(2) 山口支部役員会

支部役員 8 名の内 6 名にご出席頂き支部役員会を開催しました。最初に事務局より 6 月 3 日に開催しました、総会、中国地域ニュービジネス大賞(NB 大賞)表彰式の状況を説明しました。NB 大賞で山口県のみとも(株)様が優秀賞を受賞されていることも紹介しました。

続いて、主要議題である今年度の活動計画について話し合いました。当初はアイリスオーヤマの大山会長に、秋に講演をお願いする予定で動いておりましたが、COVID19 の影響が今後

どうなるか予測がつかないため、講演は次年度にお願いすることになりました。今年度の催事に関しては、会員限定で規模を小さくして開催する方向で検討しました。最終的に、山口支部女性部会長である豊島理事が経営しておられる(株)CGS コーポレーションのトレーニングセンターおよび警備士の方の研修・訓練状況の見学を実施し、見学会終了後に、みとも(株)様の商品「Triparu(トリパル)」の説明、実車見学会を併催する事に決定しました。11月の土曜日前提で、今後日程を確定します。

### (3) 岡山支部役員会

支部役員7名全員にご出席頂き、支部役員会を開催しました。最初に事務局より6月3日に開催しました、総会、中国地域ニュービジネス大賞(NB大賞)表彰式の状況を説明しました。また、SOERUについても紹介し、今後のご支援をお願いしました。

次年度は、総会、NB大賞表彰式を岡山県で開催することが決定しており、事務局より、成功のカギとして「岡山支部会員増加」、「NB大賞への岡山県企業の参加数増加」の二点を掲げ、支部役員の皆様にご協力をお願いしました。

今年度の活動につきましては、COVID19の拡大状況から見学会は断念し、11月中旬から12月中旬までの期間で、講演会を開催することとしました。講演者は、内海新会長、NB大賞受賞の二川教授にお願いすることとし、もしもご都合が調整できれば、もうお一方お願いする方向で調整を進めることを決定しました。状況に応じてWEB会議も活用いたします。

次年度の中国NBC定時総会開催に関しましては、交流会催事として、「備中神楽実演」、「環太平洋大学ダンス部(2019年世界選手権優勝)による西大寺裸祭りの奉納演武」、「うらじや祭りの連による演武」の3案を検討することが決まりました。岡山支部役員の皆様から活発なご提案を頂き、事務局として大変助かりました。

【中島支部長(右から2人目)】 【岡山支部役員会の様子1】 【岡山支部役員会の様子2】



### (4) 広島支部女性部会催事開催

広島支部女性部会主催で、「オリエンテーション&ビジネスお気軽相談会」を開催しました。当初4月に予定していた催事ですが、COVID19拡大防止のために延期し、7月開催となりました。消毒液の設置、マスクの着用、席の距離を保つなど、COVID19対策を講じての開催となりました。あいにくの大雨にもかかわらず、11名の方にご参加いただきました。また、今回、広島女性部会として初めての試みでしたが、1名の方がZoomで参加されました。

廣瀬新部会長が冒頭の挨拶で、中国NBCや女性部会における会員の心構えについて熱い思いを述べられ、続いて岩崎新副部会長が就任に至った経緯やSOERU(中国地域女性ビジネスコンテスト)受賞後の活動の変化など語られました。会場には他に3名のSOERU受賞者もおられ、それぞれSOERUについての自らの思いを語っていただきました。

ビジネスお気軽相談会では、COVID19の影響による先行き不安な思いを相互に吐き出すこ

とで、自分だけが苦しいのではないという一体感が芽生え、その後、お互いの事業をコラボさせる様々なアイデアが飛び交い始めました。正に、ニュービジネスの誕生を予感させるような熱気が感じられました。次回は納涼会の開催を満場一致で決めて、無事閉会となりました。

【広瀬部会長ご挨拶】



【女性部会の様子】



【女性部会催事参加者】



#### (5) 中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)マスコミリリース実施

今年度の中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)の応募受付期間は7月14日から9月8日までです。これに先立ち、恒例となりましたSOERUのプレスリリースを広島経済記者クラブで行いました。共催の日本政策投資銀行(株)(DBJ)、(一社)中国経済連合会(中経連)と中国NBC、それに加えて、協力頂いている中国経済産業局(経産局)から参加頂いた5名で対応しました。記者クラブからは3社に参加頂きました。

「コロナ禍で中小零細業者は経営が厳しい状況だが応募者は確保できそうか」、「受賞者のその後の活躍状況はどうか」、などなどの質問がありました。応募者数は気になるのですが、facebookのリーチ数は500を超えており、まずまずの滑り出しかと思われます。引き続き、構成機関、支援機関への応募者紹介のお願いを続けて参ります。また、受賞後のサポートも今後、強化すべき課題と認識しており、受賞者の飛躍につながるサポートが得られるように事務局として支援方法を改善して参ります。

【プレスリリースの様子】



【プレスリリース参加者】



【facebookリーチ数】



#### (6) 起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク構成機関連絡会議の開催

COVID19対策を考慮して慎重に準備を進めてきました、起業女子応援ナビ@中国地域ネットワークの構成機関連絡会議を開催しました。7月7日の大雨の中、実際に会議に参加頂いたのは5団体6名、Zoomでの参加は21団体24名となりました。

最初に、経産局、伊東係長よりご挨拶を頂きました。次に、中国NBCより、今年度から自主事業となりましたので、まずは、仕切り直しの意味も込めて、構成機関連絡会議を継続する目的、活動内容について説明しました。続いて、ボランティアをお願いした、(一社)島根産業振興

財団 山田主事、cocoto+藤田代表のお二方に、それぞれ女性起業家の支援事例についてご紹介を頂きました。大変申し訳ないことに、藤田代表の説明開始直後くらいから、Zoom 接続に不具合が出始め、相互の音声がかたくなっているのか把握しにくい状況が続きました。Zoom 参加の方々には大変ご迷惑をおかけしました。会議の後から分かった事ですが、WiFi 接続の不安定さが原因だったようです。以後、WiFi を使わないで有線接続を使用すると Zoom 接続は安定しております。また、5 名を超える方々に Zoom 参加頂くと、相手の反応が分り難く、情報の一方的な伝達なら可能ですが、相互に議論する会議は難しいことを学習しました。

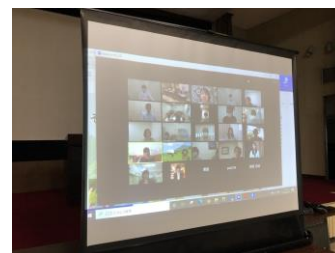
【構成機関連絡会議】



【構成機関連絡会議】



【WEB 参加者】



## (7) その他

### ① 内海会長の「経営者セミナー」開始

(一社)広島県情報産業協会と共催しております、内海中国 NBC 会長の経営者セミナーが今年も始まりました。月一回 3.5 時間のセミナーを 2 月まで 8 回開催されます。2 月は、海外研修でホテルに缶詰めになって経営計画書の策定の予定です。中国 NBC 会員からは 22 名の申し込みがあり、弊協議会の看板セミナーとなって来ました。中には、このセミナーに参加するために入会される方もおられます。今年は、3 密対策で広い会場を準備しております。経営の原理原則を学んで頂き、事業を発展させて頂ければ幸いです。

### ② JNB 事務局会議(WEB 会議)参加

JNB 荒木専務理事より 10 月の全国大会をオンラインで開催するなど、JNB からの情報提供が一時間弱ありました。その後、分科会 A「会員獲得・退会防止対策」、分科会 B「NBC 活動活性化策」と二つの分科会に分かれて一時間ほどオンラインでの話し合いを実施しました。

筆者は分科会 A のファシリテータを担当しました。北は東北 NBC、南は九州 NBC まで、全国 13 の NBC から 17 名が WEB 参加しました。東京 NBC さんでは、会員増強プロジェクトで副会長を巻き込んだ電話による会員勧誘作戦を展開されたとの事でした。参加された NBC の方全ての意見を聞きましたが、平素の地道な活動(小さな会合で会員同士の交流ができる場の提供)に価値を感じて入会頂くのが一番長続きするよう感じました。また、お試し会員などの会費減額は効果がないという声が多かったように思います。弊協議会の運営にも参考にして参ります。

## (8) 面会の記録(名刺交換程度、WEB 会議も含みますが、会長、副会長、理事は含みません)

ようやく Zoom 会議の活用方法に慣れてきました。東北から東京、富山、九州までを同時に繋いで会議ができるメリットもありますが、一方で、個々の参加者の反応が確かめにくいデメリットもあります。平素よく知っている人と少人数でなら Zoom 会議でも密度の濃い話し合いは可能ですが、初対面の人には Zoom は適さないように感じております。弊協議会のモットーとして掲げております「良質な刺激とご縁を提供します」を実践するには大変厳しい状況ですが、少人



数会合と Zoom の併用、そして汗と知恵を絞り出して、目の前の現実を乗り切って参ります。

- ・(公社)JNB、荒木専務理事
- ・(行)Asumia崎田代表社員
- ・(独)中小機構、田中審議役
- ・廿日市市、香川主任主事
- ・(公財)ひろしま産振興、牧口課長
- ・(株)広島リビング新聞社、平原副編集長
- ・山口県、竹田主査
- ・真庭市、平澤主査、寺田主事
- ・島根県、高尾主任主事
- ・島根県信用保証協会、永原主任
- ・鳥取県、濱口係長
- ・鳥取県商工会連合会、岩本部長
- ・中国経産局、園氏
- ・(有)太陽平版、井原社長
- ・(株)アイ・コミュニケーション、目次社長
- ・(株)ジェイアール東日本企画、北岡氏
- ・(一社)東北NBC、奥田常務理事
- ・いばらきNBC、佐々木事務局員
- ・(一社)東京NBC、小泉専務理事
- ・(一社)静岡NBC、太田専務理事
- ・(一社)徳島NBC、福田事務局長
- ・(一社)愛媛NBC、芦澤事務局長
- ・(一社)地域QOL研究所、田村代表理事
- ・(公財)岡山県産振興、大村主事、村上相談員
- ・NPO法人輝くママ支援ネットワークぱらママ、藤井代表理事
- ・EY新日本有限責任監査法人、左右都公認会計士
- ・(独法)中小機構、山中本部長、大當部長、田中審議役
- ・NPO法人女性と子供の自遊クラブmamanabi、高田理事長
- ・司法書士・行政書士 高橋・佐多合同事務所、佐多行政書士
- ・中国経産局、伊東係長
- ・(株)山陽管理、角田社長
- ・(株)日本政策投資銀行、星次長
- ・広島県、三原主査、小西主任
- ・(公財)広島市産業振興センター、小林主幹
- ・(株)Hint、中島社長
- ・(公財)やまぐち産業振興財団、松村副主任
- ・岡山県、川崎主任
- ・島根県商工会連合会、石田主任
- ・(公財)しまね産業振興財団、山田主治
- ・(公財)鳥取県産業振興機構、坂隠主幹
- ・cocoto+、藤田代表
- ・セコム山陰(株)、浅中社長
- ・(株)ウィズスタッフサポート、竹内社長
- ・(株)山陰合銀、西郷部長
- ・(公社)JNB、本郷事務局員
- ・(一社)とちぎNBC、伊東専務理事
- ・(一社)21世紀NBC、相馬常務理事
- ・(一社)神奈川NBC、多山事務局員
- ・(一社)石川NBC、村西専務理事
- ・(一社)高知NBC、舟越事務局長
- ・(一社)九州NBC、平本専務理事
- ・TONOERU、藤岡代表

以上